



## とげなし高知ナス「試交 SL12号」の特性



試交SL12号

表1 平均摘心日および主枝長、節数、茎径<sup>2)</sup> (2009)

系統・品種	主茎長 (cm)	主枝長 (cm)	節数 (節)	平均節間長 (cm)	茎径 (mm)		平均摘心日 (月/日)
					主茎 <sup>Y)</sup>	主枝 <sup>X)</sup>	
試交SL12号	18.9	134.6	20.8	6.5	19.3	10.2	11/13
指数 <sup>W)</sup>	(99)	(98)	(96)	(102)	(97)	(101)	
土佐鷹(対照)	19.0	137.7	21.7	6.4	20.0	10.1	11/20

Z) 台木：「ヒラナス」、は種：7月23日、定植：9月2日、栽植密度：うね幅180cm、株間50cm(1,111株/10a)。仕立て：主枝3本仕立て、U字誘引、うね上130~140cmで摘心。調査日：12月15日(平均摘心日を除く)。

Y) 第1分枝直下の節間を測定。 X) 第1、第2、第3主枝の平均値、第10~15節間の平均的な節間を測定。 W) 土佐鷹を100。

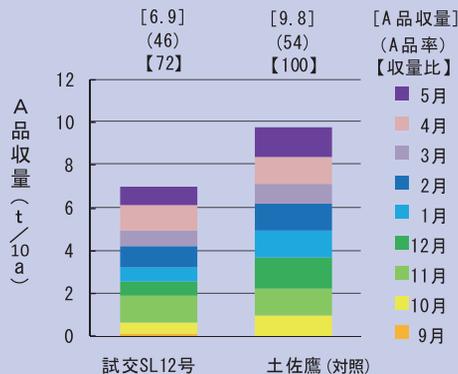


図1 「試交 SL12号」の月別 A 品収量 (2009)

耕種概要：表1参照  
収穫期間：9月28日~5月31日

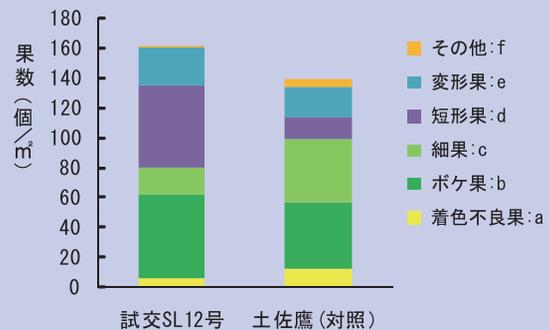


図2 B品およびひ規格外品の要因別収穫果数

5月31日までに収穫した全果実を調査。

a: 青ベタ果、赤果。b: つやなし果、ブク果、石果。e: 舌出し果、曲がり果、巾着果。f: ガク割れ、日焼け、傷他。

ナスのとげは、整枝摘葉や収穫などの作業効率を低下させ、輸送中に果皮が傷つくなどの問題があります。そこで、本県オリジナル品種「土佐鷹」のとげなし化をすすめています。そして、「土佐鷹」の両親に、とげなし素材を7回戻し交配した系統から、試交 SL12号を育成しました。

試交 SL12号は、へた、葉脈および茎にまったくとげがなく、「土佐鷹」に準じて栽培した場合、摘心時の生育は「土佐鷹」とほぼ同じでした(表1)。しかし試

交 SL12号は、細果は少なかったものの短形果が多く、A品収量は「土佐鷹」に比べ28%少なくなりました(図1、2)。

以上のように、試交 SL12号は、生育が「土佐鷹」に類似していて、とげのない特性をもっています。しかし、果形など一部の特性は異なっており、今後、さらに「土佐鷹」の戻し交配を繰り返し、優良なとげなし「土佐鷹」を育成する予定です。

(園芸育種担当 岡田昌久 088-863-4916)